

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年1月13日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0893400036		
法人名	社会福祉法人 清河会		
事業所名	サングリーンピア大子ケアセンター	ユニット名	グループホーム
所在地	〒319-3361 茨城県久慈郡大子町頃藤4144		
自己評価作成日	平成28年10月15日	評価結果 市町村受理日	平成29年1月16日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=0893400036-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成28年11月15日	評価機関 決済日	平成29年1月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

・近隣保育園・小中学校の運動会や支援学校の発表会等への参加や各種慰問を受け入れ、外部との交流の機会を大切に地域とのつながりを継続しております。
・地元老人クラブ会員の皆様のご協力で施設隣に畑をお借りして、季節ごとの野菜種まき、苗起こし、耕土、草引き、収穫まで1年中のプランターで管理をさせて頂いております。お陰様で新鮮野菜をふんだんに使った味噌汁や漬物で食を楽しませていただいております。又、職員は季節の山菜や野菜、果物など珍しいものを持ち寄り、利用者様の笑顔を楽しみに生活しております。
・利用者様の誕生日には職員手作りのメッセージ付き写真立てと、お花を送らせていただき施設内外花が常に咲いております。
・天気のよい日にはシャボン玉やボール遊び、散歩などを屋外へ出る機会を作ったり、季節行事の無い月には、外食ドライブを計画するなど外出の機会を持つよう工夫しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は幹線道路に面しているながらも、奥久慈の四季の景観が楽しめる場所に立地しているほか、敷地内に同一法人の特別養護老人ホームが今年6月に開設し、避難訓練を合同で行うなど連携を図っている。
利用者や家族等が交流する機会が増えるよう、納涼祭や敬老会などの交流行事を開催したり、毎月利用者の様子を事業所の広報誌に掲載して家族等に報告している。
事業所は地域とのつながりを大切に、近隣の保育園や小学校、中学校、老人会との交流を積極的に行うとともに、運営推進会議には多くの地域関係者の参加を得ており、そこでの意見等を事業所の運営に反映している。
管理者や職員は熱心で、利用者が家庭的な雰囲気の中で暮らしていけるよう、笑顔で生き生きと支援している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設時に職員が話し合い作成した事業所理念を、フロア内壁の見やすい場所に掲示しております。職員各自がネームホルダーに携帯して黙読、復唱しております。又月1回のミーティング時に唱和して共有に努め、理念に添ったサービス実践につなげております。	開設時に職員で話し合っ地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作成し、居間兼食堂に掲示するとともに、職員のネームホルダーの裏に携行したり、月1回の職員会議時に確認しながら共有し、実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣保育園の慰問や小中学校の運動会玉手箱への参加や収穫祭や発表会等へ参加して地域の方々との交流する機会を作っております。近隣神社の祭礼では、地域の方々が担いだお神輿を施設前通りでもんでくださり、利用者様が大変喜ばれました。近隣の物産センター「りんご祭り」へも出向き楽しんできました。	年2回近隣の保育園児が来訪して歌や遊戯を披露したり、利用者に肩たたきをしてくれるなど、利用者の楽しみとなっている。 小学校や中学校、特別支援学校からは、収穫祭や運動会への招待があり、参加している。 地域の老人会が隣接した畑の管理全般を行い、利用者にも収穫を楽しませてくれたり、老人会活動のシルバーウォーキング中に事業所に立ち寄り、利用者とお茶を飲みながら交流している。 楽器演奏や歌のほか、定期的にシルバーリハビリ体操のボランティアが来訪している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	面会や相談にいらしたお客様、ご家族様へ認知症状への理解や支援方法のお話をさせていただいております。運営推進会議等でも、折に触れ説明させていただいております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を町職員、包括支援センター職員、民生委員、老人クラブ会長、地域住民代表、ご家族様代表と利用者様も参加して頂き2ヶ月に一度開催しております。外部評価結果や事業計画・報告、アンケート結果の報告などを行い、出席者からの意見などを職員間で話し合いサービス向上に活かしております。	運営推進会議は利用者や家族等の代表、町職員、地域包括支援センター職員、民生委員、老人会長、地域住民、管理者、職員で2ヶ月に1回開催している。 会議では利用者の生活の様子や運営状況、行事の報告を行うとともに、地域の秋祭りで施設の敷地にお神輿に立ち寄ってもらい、利用者にも大変喜ばれるなど、委員から出た意見や助言をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には町福祉担当職員、包括支援センター職員より町の介護福祉に関する情報を頂いております。又、随時町担当窓口を訪問して、ご利用者様の介護保険更新申請や介護認定情報を頂いたり、入退所情報や待機状況の報告などを行っております。	町担当者が毎回運営推進会議に出席しているほか、入退居情報の提出や要介護更新申請で訪問するなど、町担当者とは顔馴染みとなって細かいことでも相談し合い、情報交換をしながら協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	契約時に重要事項説明書にて身体拘束の禁止についての説明を行い同意を頂いております。身体拘束防止マニュアルを事業所内目に付くところへ備え、ポスターを事業所内に掲示して具体的な行為の確認を行ない身体拘束の無い介護に努めております。玄関は防犯上オートロックとなっておりますが、日中は時間を決めて開錠しております。	事業所の玄関はオートロックとなっているが、日中は時間を決めて解錠しており、契約時に家族等に説明をして書面にて同意を得ている。 身体拘束排除ポスターを掲示するとともに、身体拘束防止マニュアルを作成しているが、定期的に内部研修を行うまでには至っていない。 やむを得ず身体拘束を行う場合に備え、同意書は作成しているが、経過観察記録や再検討記録を整備するまでには至っていない。	身体拘束をしないケアを理解して実践するために、定期的な内部研修を行うことを期待する。 身体拘束を行う場合に備え、「経過観察記録」や「再検討記録」を整備することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内外で高齢者虐待防止法について勉強する機会を設け、職員間で共通の認識と理解を図れるよう努めて行きます。日常の業務の中でも、職員同士お互いに注意を払い、自分では気付かないような気になる点は指摘するなどしながら虐待防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	法人内外で権利擁護について勉強する機会を設け、職員間で共通の認識と理解が深められますよう努めてゆきます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時において、重要事項説明書や契約書及び利用料金について、ご利用者様ご家族様の理解・納得が得られますよう十分説明を行い確認しながら行なっております。内容の変更や料金の改定時には文書にてお知らせするよう契約書に明記して契約時に説明を行なっております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にご家族様、ご利用者様にも参加して頂き、町職員・民生委員・地域住民の代表の方や事業所職員との意見交換の場を作っております。年1回ご家族様へ無記名でのアンケートを実施して、思いを汲み上げ、結果をご家族様や運営推進会議で公表したり職員会議で話し合い運営に反映させております。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記し、契約時に家族等に説明している。 家族等からは年1回の家族会や環境整備の奉仕作業、行事などで来訪した際に意見や要望を聴くよう努めているほか、無記名の家族アンケートを実施して、結果は郵送にて家族等に周知している。 家族等から、「面会に来た時にゆっくり寛げる場所があるといい」との要望を受け、談話スペースを設けた。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議や主任会議に参加して、職員からの意見や要望を聞く機会を設けております。又、職員一人一人と話をする機会を作るよう心掛けて、職員が気兼ね無く意見や思いを話せるよう配慮しております。	管理者は月1回の職員会議やモニタリング時に、職員から意見や提案を聞く機会を設けているほか、業務中や休憩時間にもコミュニケーションを図り、何でも言い合える関係づくりに努めている。 職員の提案で歩行器を購入し、利用者は歩行訓練とともに行動範囲を広げることができるようになった。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	介護現場からの意見や要望を主任会議時や随時聞き入れ、代表者へ伝え環境や条件の整備に努めております。又、個々の勤務状況や実績などを常に報告しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が法人内外の研修に参加出来る機会を作っております。職場内では常に職員の活動に目を配り、力量を把握して、必要な助言や指導を行っております。職員の希望を聞きながら、職場内勉強会を実施しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	町主催や町内施設合同の勉強会に参加してネットワークづくりに取り組んでおります。年始には法人職員が一堂に会して決起集会を行い交流や情報交換の機会を作っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始していただく前にご本人様との面談を行い、会話中の何気ない言葉に耳を傾け、ご本人様の思いを感じ取り受け止められますよう、受容と傾聴の姿勢に努めております。表情にも気を配り、細やかな説明を行ないながら、不安を軽減して安心して利用していただけますよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始前の準備段階を通して、ご家族様の不安や要望を気兼ねなくお話していただけますよう傾聴、共感しながら話しやすい環境、雰囲気作りに配慮して信頼関係の構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始前の面談において、ご本人様やご家族様が、今必要であろうと思われるサービスを見極め、他のサービスや社会資源を必要としている場合は、情報提供や紹介などの対応に努めております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様個々の心身の状態に合わせ、日常生活の中の掃除、洗濯、調理などのお手伝いして頂いております。長年培ってきた生活の中の知恵や工夫などを教えていただき、人生の大先輩として敬いながら、会話や行動を共にする事で、共に生活する者としての関係を構築しております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様の心身の状態の変化や気付き等、細やかな連絡を取り、常に情報を共有しながら支援しております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	通いなれた理美容院や主治医、歯科受診、馴染みの店での買い物等が出来ます様、予約や送迎、付添いを行なっております。ご家族様との関係も継続できます様、ご本人様の希望時には電話をかけるなどお手伝いしております。ご家族様や知人の面会は時間制限なく対応させていただきます。ありがとうございます。	利用者の日々の会話や家族等から話を聴き、利用者が築いてきた馴染みの人や場所を把握するように努めている。 利用者の友人や親戚が来訪した際には、お茶を出して居心地よく過ごせるよう配慮しているほか、馴染みの理・美容室や店へ職員が同行したり、自宅への外出や外泊、墓参りなどに、家族等の協力を得ながら支援し、これまで大切にしてきた人や場所との関係が途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係性を常に把握して座席の配置などに気を配り、利用者様が孤立せず、関わりを持ちながら生活できます様、声掛けや誘導を行ないながら支援に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	併設施設へ入所された利用者様の様子を常に気に留め声掛けをしたり、施設職員へ様子を確認するなどしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員は利用者様お一人お一人の暮らしに対する思いや意向を把握できます様、基本情報や生活歴などを確認するよう努めております。毎日の生活の中で発する何気ない言葉や仕草表情などからも思いを感じ取る様努め、支援経過への記録や申し送りにて情報を共有するよう努めております。	管理者と職員は、利用者の表情や仕草、態度のほか、申し送りノートや個人記録から一人ひとりの思いや希望の把握に努めるとともに、その都度話し合って職員会議などで周知している。 意思の表出が困難な利用者の場合は、家族等の来訪時に話しを聴いたり、表情や仕草、反応を細かく観察し、思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	申し込みの時点から利用開始まで訪問などを行い、継続してご本人様・ご家族様への聞き取りなどで必要な情報の把握に努めております。又、担当ケアマネや他サービス事業所との連携を図り情報収集を行い、現状に至るまでの経過等の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご自分で出来る事、支援が必要な事を抽出し、お一人お一人の生活リズム表を作成して職員間で共有しております。日々の生活を記録して申し送りを行い、情報を共有できるよう努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々のご本人様や家族様の意向をお聞きして、さらに毎月のモニタリング表や支援経過記録やご本人様の言葉や行動を基に課題を把握して、職員で話し合い作成しております。利用者様の心身に変化が生じた時や必要時には見直しを行い、現状に即した介護計画を作成するよう努めております。	介護計画は利用者や家族等の意向を取り入れるとともに、医師や看護師の意見を取り入れて管理者や計画作成担当者で話し合って作成し、家族等の来訪時に周知している。 モニタリングは毎月行い、短期目標は6ヶ月、長期目標は1年に設定し、基本的に1年毎に見直しをしている。 利用者の心身の状態等に変化が生じた場合は、随時担当者会議を開いて、見直しをしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の様子や変化、気づき等は個別記録へ記入し、特に重要と思われる事柄は『申し送りノート』へ記入して、必ず職員が目を通して各自サインを義務付け、情報の共有に努め、実践や介護計画の見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様の対応が困難な時には受診同行や買い物援助など日々変化するニーズに応じ、柔軟な対応をさせていただいております。入院時にご家族様が対応困難な利用者様の洗濯や介護用品補充なども行い支援しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご利用者様が毎日を安心して過ごす事ができます様、主治医や他医療機関、消防関係機関との連携を図っております。日常生活が楽しみのある豊かなものとなります様、近隣保育園、小中学校や特別支援学校、長寿会との交流や行事参加、ボランティア受け入れなど行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	長年信頼関係を築いてこられた『かかりつけ医』への受診継続を支援しております。受診はご家族様対応を基本として、受診時には生活状況をお伝えし情報提供しておりますが、ご家族様が都合のつかない時には受診同行して主治医との連携を図っております。その際は必ずご家族様へ結果報告をしております。	契約時に利用者や家族等に希望するかかりつけ医への受診が可能ことや、協力医療機関の医師をかかりつけ医にできることを説明し、確認を得ている。 かかりつけ医への受診は家族等の付き添いを基本とし、家族等が付き添えない場合は職員が付き添って、受診結果は電話で家族等に報告するとともに、申し送りノートや個人記録に記載して職員で共有している。 週1回訪問看護師による健康管理を支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	バイタル測定を午前午後2回行い体調変動の早期発見に努めております。週1回の看護師訪問時には、個々の情報提供を行い、特に気になる状態や変化が見られたときには相談をして適切な受診や看護が受けられますよう支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者が入院となった場合には安心して治療が受けられ早期退院ができます様、医療機関への情報提供を行ないます。入院期間中は面会を行い、経過観察や関係者から聞き取りを行い、日頃から医療機関との連携が図れます様支援させていただいております。ご家族様が遠方の利用者様の入院時の衣類洗濯や介護用品補充などもお手伝いしております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約の段階で重要事項説明書において事業所の終末期に向けた対応を明記して、ご家族様に説明を行い同意を頂いております。又、看取りについての事前確認書でご本人様・ご家族様の意向を確認しております。『終末期介護マニュアル』や『重度化した場合の対応に関する指針』を作成し、職員間で話し合いや勉強会を実施して方針の共有に努めております。	「重度化した場合の対応に係る指針」を作成し、入居時に家族等に説明して書面にて同意を得ている。 看取り介護を行うかどうかは現在検討中とのことであるが、重度化した場合に関する内部研修を行うまでには至っていない。	重度化した場合に備えて、定期的に内部研修を行うことを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご利用様様の急変や事故発生時に備えて、AED使用方法や看護師による緊急時の対応方法やパルケシメーターの使用方法などの勉強会を定期的に行なっております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ご利用様も参加して夜間を想定した避難訓練を職員全員が体験し身に付けられるよう毎月行っていました。王y y5年目を向かえ年数回に減りましたが、年1回は消防署員、車両の派遣を要請して消火訓練を行っています。運営推進委員の協力を得て日中の避難訓練を行い、協力体制構築にも努めております。	夜間想定や地震想定を含む避難訓練を年2回以上行い、運営推進会議の日に行うなど工夫しているが、幹線道路沿いながら近隣住民の参加を得るまでには至っていない。 訓練の記録を作成し、訓練後の意見や反省点を記載している。 災害に備えて米や水、食料品、懐中電灯、おむつ類、毛布などを賞味期限などを記載した備蓄品リストを作成して管理している。	災害に備え、訓練に近隣住民の参加が得られることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全職員がご利用者様お一人お一人を個人として尊重し尊厳ある声掛けを行い、入浴や排泄関係の声掛けは耳元で行い、排泄中はドアの外で待たせるかかるといつなどプライバシーに配慮して支援しております。個人情報に関する書類は事務室内鍵のかかるキャビネットに保管して個人情報の保護に気を付けております。	トイレへの誘導は小声で声かけしたり、入浴は一人ずつ対応するなど、職員は利用者の尊厳やプライバシーを大切に、常に話し合っで利用者の羞恥心や自尊心に配慮したケアに取り組んでいる。 個人情報に関する書類は、事務室の鍵のかかる書棚に保管して情報漏洩に注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でご利用者様への話しかけや係わる機会を多く持つ事で、ご利用者様の発する言葉や行動、表情にも気を配るよう努めております。外食時のメニュー選択や入浴時の着替えの準備や日中のフロアでの過ごし方、休息など可能な限り自己決定できます様働きかけを行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の日課は強制することなく、お一人お一人のペースに合わせて過ごしていただけますよう支援しております。食後の自室での休憩やテレビ観賞、施設内散歩など其々ご本人様のペースで過ごして頂いております。入浴もご本人様の希望や気分に合わせて日程変更しながら対応させて頂いております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合わせご本人様の好みの衣類を着用できます様、ご家族様と連絡を取りながら衣類の入れ替えや整理等の支援を行っております。頭髪が伸びてきましたらご家族様へ連絡をして、馴染みの理美容室を利用して、好みのスタイルを楽しめますよう支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	歩行可能な利用者様には配膳下膳のお手伝いをお願いしております。座ったままでも出来るお盆拭きを行なって頂いたり、野菜の皮むきや下ごしらえなどもお願いしております。男性の方でも上手に行なってください。	宅配業者の献立により食材が届き、職員が代替食や自家菜園の野菜を取り入れながら調理しており、月1回は外食を実施して利用者に希望のメニューを選んでもらっている。 正月や雛祭りなどの行事食のほか、誕生会には利用者の希望にそって手作りまんじゅうなどでお祝いをしている。 利用者ではできる範囲で野菜の皮むきや食器拭きなどを一緒に行い、職員は利用者と同じテーブルに着いて食事介助をしたり、楽しく話をしながら同じ食事を摂っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様個々の好みや摂取量に合わせて、形状も変えるなど調整しております。認知症の進行で摂取量低下しているご利用者様には、声掛けや工夫をしながら少しでも口にいただけますよう支援、又、一目で摂取量分かるように記録しております。水分補給の回数も多く取り水分補給に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施しております。自力歩行の可能なご利用者様の中には日課となり、食後自ら洗面台へ向かう姿も見られます。移動が難しい方にはコップや吐き出し様ボールをお席へ運ぶなど状態に合わせた支援を行っております。夕食後は義歯を洗浄剤へ浸けて消毒を行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご利用者様お一人お一人の排泄パターンを記録把握しリズムに合わせてトイレ誘導を行っております。夜間排泄回数が多いご利用者様の希望により、自室にポータブルトイレを設置して翌朝片付け清掃をしながら排泄の自立に向けた支援を行っております。	職員は排泄チェック表や個人記録を活用し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、利用者の仕草やサインから察知してさりげなく声かけ誘導し、できるだけトイレで排泄ができるよう支援している。 職員の適切な声かけにより、紙おむつから布パンツに改善した利用者がある。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝食に乳酸菌飲料やおやつにはヨーグルトを提供、ラジオ体操や健康体操を日課として体を動かす機会を作り、便秘予防に努めております。排泄管理表にて個々の排泄管理を行い排便間隔を把握して数日排便の無い時には其々医師の支持に従い対応しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	身体的な負担を考慮しまして週2回程度の入浴となっておりますが、ご利用者様の希望や状態に臨機応変に対応させていただいております。個浴となっておりますので自宅のようにゆっくりと入浴していただいております。季節に合わせて、柚子やりんご、菖蒲、入浴剤などを使用して楽しんでいただいております	入浴は週2回の午後を基本としているが、利用者の希望によってはいつでも利用可能となっている。 入浴を拒む利用者には職員を替えたり、時間帯を変えるなどで対応している。 柚子湯や菖蒲湯、りんご湯などで季節感を取り入れ、入浴が楽しめるよう工夫しながら支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様のご希望や体調に合わせて居室での休息を自由にお取りいただいております。夏場暑い時期や冬場寒い時期には就寝1時間前にエアコンで室温調整、冬は希望される方には湯たんぽを準備して布団を暖める等、心地よく就寝していただけますよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お一人お一人の情報書をお預かりして個々のファイルに綴じ込み服薬状況を全職員が把握して、毎日の管理を行っております。点眼薬に関しても漏れや重複が無いように、チェック表を作成して職員全員で管理しております。常に、個々の状態把握に気を配り支援させていただいております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の生活の中で、掃除や洗濯干し・たみ炊事などお一人お一人の能力に応じた役割を持っていただき、張りのある生活が送れますよう支援させていただいております。玄関脇にベンチを設置して散歩や日向ぼっこ、シャボン玉やボール遊びなどを行っております。晩酌を嗜まれる方もおりました。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご利用者様の希望を取り入れ、外出を計画し公用車にて職員同行で外出、外食する機会を作っております。又、ご利用者様の体調に合わせて屋外散歩や近隣小中学校の運動会や発表会、収穫祭等の行事に参加して地域住民との交流の機会を作っております。息子さんへの依存の強い利用者様を息子さんが迎えに来て自宅で草引きをして夕方戻られる方もいらっしゃいます。	天気の良い日には、利用者と職員で事業所周辺を散歩し、近隣住民と挨拶を交している。職員が個別に対応して買い物に同行したり、家族等の協力を得ながら車いすの利用者も一緒に、竜神峡やりんご狩り、紅葉狩りなど普段行けないような場所に外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭能力の低下してしまっているご利用者様に対してはご家族様と話し合いの上、事業所において金銭管理を行ない収支報告を行なっております。金銭管理をご希望のご利用者様にはご家族様のご理解の下で、外出時の買い物ができます様支援させていただきます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様の希望に応じ、何時でもご家族様へ電話をして会話する事で家族とのつながりを感じていただけますよう支援しております。暮れには自筆で家族様宛の年賀状を投函してつながりを感じて頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	今は広いスペースで大きな天窓が有り、明るい空間となっております。夏場は遮光に布地を貼り付けエアコンにて温度も一定に保ち心地よく過ごせる場所となっております。フロアには観葉植物や職員が持ち寄る草花を飾り季節を感じて頂いております。フロアからガラス張りの中庭が見渡せ季節や天候を感じていただけます。入口に設置したベンチで奥久慈の山々の景色を眺められる利用者様もいらっしゃいます。	外には利用者と職員で作業した干し柿が吊るしてあるほか、ガラス張りのフロアからは、奥久慈の景観を眺めることができる。玄関や居間兼食堂には観葉植物や誕生会に事業所で贈った利用者の鉢植えが随所に置かれ、大きな天窓からの陽射しを浴びている。居間兼食堂は周りに居室があるため目が行き届くほか、テーブルや長椅子、テレビ、カラオケセット、加湿器などがあり、面会者や利用者が思い思いに寛ぐことができる環境となっている。浴室は家庭的な個人浴槽となっており、安全を配慮して手摺が各所に設置してある。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアには大きなテーブルを設置して団欒が持てるようになっております。壁際にソファを設置してゆっくりと休憩したり、玄関内外にベンチを設置して、其々の場所で自由な時間を過ごしていただけますよう工夫しております。	/		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	長年使い慣れた、思い入れの有る家具家財やお気に入りの品物を持ち込んで頂き、ご本人様ご家族様好みの居室作りを支援しております。衣類や寝具の季節ごとの入れ替えは家族様に行なっていただいております。可愛がっていたペットやご家族様の写真など自由に持ち込んで自宅のように過ごしていただけますよう配慮しております。			居室にはエアコンやベッド、カーテン、整理箆などが備え付けられている。 管理者は使い慣れた物品を持参して貰えるよう説明しており、利用者は家族等と相談しながら使い慣れた寝具類や衣装ケース、目覚まし時計、手作り作品、ソファなどを持ち込み、居心地よく暮らせるよう工夫している。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部壁には手摺を設置して自立歩行、下肢筋力低下等でふらつきが見られる方にはU字歩行器を準備して安全に移動ができます様配慮しております。床の段差を無くす事で車椅子や歩行器利用している方も自分の行きたいところへ移動する事が出来ています。各居室には馴染みの物を持ち込み自室との認識できるように配慮しております。			/

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 サングリーンピア大子ケアセンター・グループホーム

作成日 平成29年1月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアを理解して実践する為に、定期的な内部研修を行なう事を期待する。身体拘束を行なう場合に備え「経過観察記録」や「再検討記録」を整備する事を期待する。	身体拘束をしないケアを理解して実践する為に定期的な研修を行なう事と、いざと言う時に備え必要な書類を整備する。	身体拘束をしないケアを理解実践する為に、定期的な研修を計画、実施します。又、法人で使用している様式を参考にして、必要な書類を整備します。	1年
2	33	重度化した場合に備えて、定期的な内部研修を行なう事を期待する。	重度化した場合に備え定期的な内部研修を実施する。	定期的な内部研修を計画、実施します。	1年
3	35	災害に備え、訓練に近隣住民の参加が得られる事を期待する	災害に備え、避難訓練へ近隣住民の参加が得られるように計画する。	近隣住民へ日中の避難訓練への参加を依頼します。	1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。